

マルコム X、米国 (PART 1)

:

明:

最も出したアフリカ系米国人革命家の一人による、真のイスラムの。そしてそれがいかに人を解するかについて。Part 1: ネーション オブ イスラム教 とハッジ。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 著名人](#)

より: ユ スフ スィッディ キ

日 06 Dec 2009

集日 12 Dec 2009

“私はムスリムであり、これからもずっとムスリムである。私の宗教はイスラムである。”

マルコムX

幼少期

マルコム Xはマルコム リトルとして、1925年5月19日にネブラスカ州オマハで生まれました。彼の母 ルイズ ノ トン リトルは8人の子供を抱える多忙な主、そして彼の父 アル リトルは に衣着せぬバプティスト教会の牧 で、 人民族主 者マ カス ガ ビ の 烈な支持者でした。しかしアルの公民 は白人至上主 者 体であるブラック リ ジョンによる死の 迫を受け、マルコムの家族は彼が4 になる前に2度の引越しを余 なくされました。そしてリトルによるブラック リ ジョン回避の努力も虚しく、彼らが住んでいたミシガン州ランシングの家は き ちに合い、その2年 マルコムが か6 の には、トロリ (市街) の 路上でアルの切断された 体が横たわっているのが されました。一方ルイズは彼女の夫の死から数年、神 衰弱で精神病院への入院を余 なくされます。彼女の子供たちは 子に出されたり、または 数の孤 院に けられたりして ればなれになりました。

マルコムは 明晰な学生で、学年トップの成 で中学校を卒 しました。しかし彼のお に入りの教 から、彼の である弁 士への道は 人には 的でないと告げられて以来学校への 味を失い、15 で中退してしまいます。街の生き方を学んだマルコムはギャング、泥棒、麻 密 人やぼん引きなどと しくなり、20 の には窃盗の罪で有罪となり、27 になるまで刑 所で暮らしました。刑 所の中で彼は独学に励みました。そして 中でネ ション オブ イスラ ム教 について知り、その教祖イライジャ ムハンマドの教えを学び、それを受け入れま した。そして1952年、彼は以前とは 人さながらになって出所します。

ネ ション オブ イスラ ム教

マルコムは出所 デトロイトへと赴き、ネ ション オブ イスラ ム教 の活 に参加し、イライ ジャ ムハンマド自身から手ほどきを受けました。マルコムの 心な奉仕によって は全国 模となり、彼自身も世界的な著名人となりました。彼はテレビや一流 のインタビュー を 受け、アメリカ全土の 々な大学やフォ ラムで演 して回りました。彼の言 には力がみな ぎっており、 人の苦境や白人による激しい迫害を巧みに表 しました。ある白人が南部 のある大学が 人の新入生を受理したことに する事 に言及した には、マルコムは怒りを めてこう反 したものです：

“私がスべると、番 の主催者は り に がかったかのようにこう言う：「ああ！マルコ ム Xよ、あなたはそれがあなたの人 の であることを否定出来ないでしょう！」と。

そして私は り竿をぐいと引く。私はどこに行っても公民 の向上に することを く。どう やら白人たちは 人がハレルヤ！と叫んでいなければならないのだとでも思い んでいる ようだ。400年 に渡り、白人たちは 人の背中にナイフを突き刺したままの状 だった。そ して今、彼らはそのナイフを こうと半分ほど引っぱり出しただけなのだ。 人たちはそ れに して感 すべきだろうか？ 例え白人がナイフを完全に引き いたとしても、そこに大 きな を残すことに わりはないのだ！”

マルコムの言 にはたびたびアメリカにおける 人に する不正への非 が含まれていました が、ネ ション オブ イスラ ム教 におけるそれ同等の人 差 的信条は、白人たちが彼に して

同し、手助けすることを妨げていました。彼は白人こそが 魔であり、イライジャ ムハンマドが神の使徒であると12年 に渡って き けていたのです。その 彼は完全に わり、アメリカ人に して重要なメッセ ジを数多く残しましたが、不幸にも 在に至るまでマルコム イメ ジの大半はこの 期の彼に焦点を当てられているのです。

真のイスラ ムへの改心

1964年3月12日、ネ ション オブ イスラ ム教 内部からの嫉 、そしてイライジャ ムハンマドによる性的スキャンダル により、マルコムは自らの 体の立ち上げを意 し、ネ ション オブ イスラ ム教 を去りました。その に彼はこう っています：

“私は自分が かに支配されたまま、眠りの中にあつたように感じている。しかし今自分が言っていることは、本当に自分の口から出ているのだと感じている。以前は かによる、 かのためのものであつたが、今や私は自分自身の考えを持っているのだ。”

マルコムがイライジャ ムハンマドのネ ション オブ イスラ ム教 を去ったのは、彼が38 の でした。彼は当 を思い出し、こう っています：

“私が大学などで行った 演 の非公式な集まりでは、通常アメリカ在住者か留学生、または旅行中の、自分たちをアラブ人とか中 人、あるいは北アフリカ系ムスリムと呼ぶ、白い肌をした人々が私の前に集まって来た。私の白人に する非 にも わらず、彼らは私が自身をムスリムだと主 していることに真 さを感じ、もし私が彼らの言う真のイスラ ムに触れれば、私はそれを理解し、受け入れるだろうと感じたと言うのである。私はイライジャの追 者として、これらの 言を自 的に却下した。しかしそのようなことを何度か した 、熟考の末、私は自分にこう いただいた：もし人が宗教に して真 であれば、その宗教の知 を げることに して立ち止まるべきではない、と。

私が出会った正 派ムスリムたちは次から次に、私がマフム ド ユ セフ シャワルビ 博士に 会って すことをしきりに促した…そしてある日、私とシャワルビ 博士は、一人の新 者によって引き合わされた。彼はとても なる人物だった。彼は、私のことを新 やテレビで

す者たちを意味していたのだ。しかしムスリム世界で白い肌の色をした人々は、私がこれまでに て来た他の よりも りなく 身になってくれた。あの朝は、私の‘白人’の にする画期的な 革の始まりだった。

そこには何万人もの巡礼者たちが世界中から集まって来ていた。彼らは青い目をした金 から い肌のアフリカ人まであらゆる人 から 成されていたが、我々は皆同じ 礼を行ない、私のアメリカでの 上、白人と非白人の では して起こり得ないと信じていた 一と同胞 の精神を体 していたのだ…

アメリカはイスラ ムを理解する必要がある。なぜならこれは社会から人 差 をなくす唯一の宗教であるからだ。私はムスリム世界を旅して回るにあたり、アメリカでは白人 と なされる容姿をした人々と出会い、 し、更には食事を共にした。彼らの心からはイスラ ムの教えによって、いわゆる‘白人’の 度が取り除かれていたのだ。私はこれまでに一度も、このような さと真の同胞 が肌の色に なく、全ての人 によって 踐されているのを たことがなかった。

マルコムの新しい米国像

マルコムは けます：

“ 地で ごした は、アメリカで 人と白人の で起こっていることに し、精神的に更なる洞察力を うことを可能にさせた。アメリカ 人は、彼らの白人に する人 的憎 に して咎められる筋合いはない。彼らはただ400年 に渡るアメリカ白人からの 拗な人 差 に反 しているだけなのだ。しかし人 差 がアメリカを自 的な方向へと いている中、私は彼らとの によって、大学で学ぶ白人の若い世代は壁に描かれたメッセ ジを て、真 への精神的探求を始めるだろうと く信じた。それは人 差 が必然的にもたらす悲惨な 末を避けるための、アメリカに残された唯一の道である。

私は神が今、いわゆる‘キリスト教徒’の白人社会に して悔い改め、世界の非白人に する 取と奴 制度に する罪を う最 の 会を与えているのだと信じている。これは神がファラオに して悔悟する 会を与えたのと同じである。しかしファラオは なに、彼の 制に す

る正を拒否し けた。そして我々が知るように、神は最終的にファラオを破りに追い込んだのである。

私はアッザム博士との、彼の邸宅での夕食をして忘れない。彼とせばす程、私には彼の大きな知の宝とその多性が果てしなく思われた。彼は言者ムハンマド-彼に神の称あれの子の人的成についてり、それがいかに人と白人のどちらも包括しているのかを示してくれた。彼はまた、ムスリム世界における人は、西洋からの影が大きい地域でのみ存在していることも明らかにしてくれた。そして彼は、肌の色にする度に基づいた相は、西洋の影の度合いに反映しているのだと述べたのだった。”

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/88>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。